

史料目録 第88集

信濃国松代真田家文書目録  
(その9)

平成21年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館  
調査収集事業部

史料目録 第88集

信濃国松代真田家文書目録  
(その9)



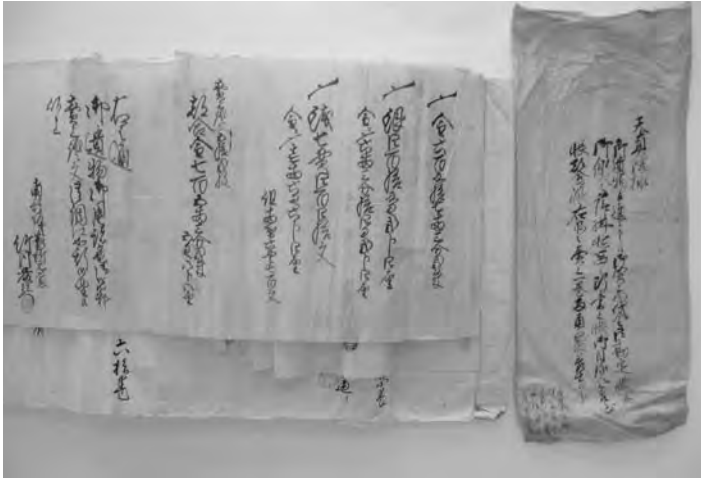


写真1 天真院葬送につき買物代金受取証文一括 (す93)

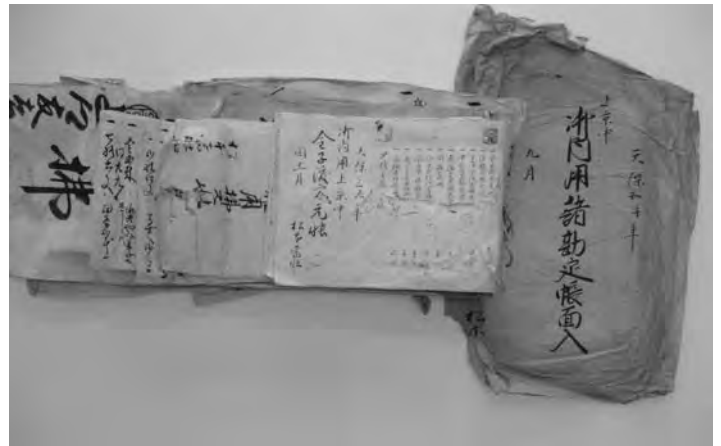


写真2 御内用上京につき勘定関係証文一括 (す94)

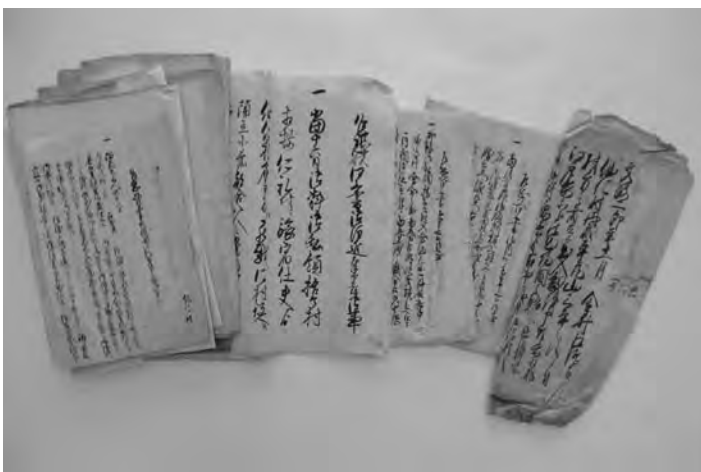


写真3 仙仁山入会争論一件書類一括 (す95)



写真4 外鹿谷村分年貢割付状綴(寸1)

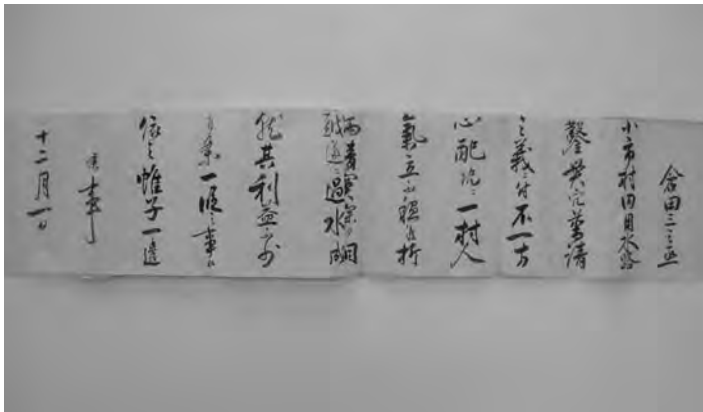


写真5 真田幸民用水開鑿関連褒状(寸10-20-1)



写真6 金井精藏貞道錦袖御印(寸96-2)

## 凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第88集として「信濃国松代真田家文書（その9）」を収めた。「信濃国真田家文書（その一）」は『史料館所蔵史料目録』第二十八集として、昭和53（1978）年に刊行した。その後、目録（その二）から目録（その8）まで刊行してきた。今年度は目録（その9）・目録（その10）を刊行する。これでもまだ全部の目録編成は終了しないが、来年度の平成21年度でもって完了する予定である。
- 2 目録の編成にあたっては文書群の管理・保存部局と作成部局に留意し、ISAD（G）（国際標準：記録記述の一般原則）の考え方も参考にしつつ、項目で編成する方式をとった。
- 3 各まとまり単位に区分け配列し、各区分け名称を付し、また区分け名称の後に、「勘定所」や「計政局」など部局名を記しているが、それは当該文書群を最終的に管理・保存していたと考えられる部局である。部局名を付していないものがあるが、それは部局を特定できなかったためである。
- 4 真田家文書の未整理史料の把握のため現状調査した折りに、解題で述べるように箱番号としてアルファベットを付したが、これまでの刊行目録の番号付与の方法との整合性をはかり、かつデータ処理の統合性を保つために、本目録では、「L・G・K・F」をそれぞれ「す・せ・そ・た」と置き換えた。場合によっては、「す（L）・せ（G）・そ（K）・た（F）」と併記した形で表示した。
- 5 袋・こより紐などによる一括史料は、史料館へ譲渡後の仮整理時に一括されたと推定されるものも含め、すべて現状のまま一括掲載し、枝番号付与で物理的階層を示すこととした。一括内の個々の史料配列順も原則として現状通りとし、並び替えは行わなかった。一括史料に表題がない場合は、仮に全体表題を付与して（ ）内に記した。
- 6 史料1点ごとの記述は、①表題・作成等（表題、作成→宛所、備考）、②年代（作成年月日）、③数量・形態、④整理番号、の順に記載した。

表題は、本目録の大半を占める書付型史料の場合、原則として差出人＋文書名のかたちで付与した。表題の付与に当たり、原文書に柱書がある場合は表題の後に〔 〕で記した。また、柱書がない場合で端裏書など文書管理文言がある場合は、それを採用し、（端裏書）〔 〕と標記した。また、表題や柱書だけで不十分な場合は、さらに（ ）で内容を摘記した。表題などで、□・□ □が付されているのは、原史料が虫損などにより解読不能のためである。

形態は、本目録の大半を占める書付型史料の場合、縦紙、横折紙、縦継紙、横切紙、切紙などと表記することで、料紙の使用法の違いを示した。
- 7 本目録では史料が保管されてきた秩序に応じて史料番号を付与したため、目録上では史料が番号順に並んでいない。そのため番号による検索には不便をきたすので、史料の引用に際しては番号のほか掲載頁も併記することをお願いしたい。
- 8 本目録はアーカイブズ研究系の高橋実が担当し、荒川将、山本英貴（以上2006年度）、荒木仁朗（2007年度）、清水邦俊、高橋伸拓、種村威史（以上2007年～2008年度）、榎本博、太田弥保、小酒井大悟、志田達彦、中村只吾、長谷川雅也（以上2008年度）の諸氏の協力を得た。なかでも、種村威史氏の協力は大きい。



---

## 総目次

---

口絵

凡例

総目次

本文細目次	1
信濃国松代真田家文書目録（その9）解題	3
文書群記号	3
文書群名	3
年    代	3
数    量	3
入手の経路	3
真田家文書について	3
1 真田家と松代藩の歴史	3
2 真田家文書の管理と伝来	3
① 真田家文書の管理・保存	4
② 真田家文書の伝来	5
③ 戦後に分割された真田家文書	7
④ 国文学研究資料館真田家文書の整理の歴史	8
⑤ 真田家文書群の特色	9
3 収録文書群の構造と目録編成方式	10
4 松代藩の職制について	11
5 個別文書群内の配列と概要	13
6 真田家文書関連文献一覧	26





---

本文細目次〔文書群の構造〕

---

す文書群

1 藩主（藩侯）／吉凶／葬送 勘定所	29
2 藩主（藩侯）／吉凶／代参拜 勘定所	31
3 藩政／在方／争論・訴訟 勘定所	33
4 藩政／廃藩置県／県治引継ぎ／年貢 勘定所	34
5 藩政／番方／戊辰出兵錦袖印	57

せ文書群

1 藩主（藩侯）／家臣・用達ほか／儀礼・年始返礼 勘定所・計政局	60
2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定 勘定所・計政局	77
3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定 勘定所・計政局	91
4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定 勘定所・計政局	101
5 藩政／預所・財方／預所運用金中借 勘定所・計政局	108
6 藩政／預所・財方／預所村々貸出元金勘定 計政局	109
7 藩政／預所・在方／預所村々拝借金 勘定所	109
8 藩政／郡方／道中人馬賃銭 勘定所	110
9 藩政／番方／武具調達 勘定所・計政局	111
10 藩政／厚生治療 勘定所	112
11 藩政／家臣・財方／拝借金 勘定所	112
12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借入金 勘定所	115
13 藩政／町方／御救い拝借金 勘定所	120
14 藩政／在方／御救い拝借金 勘定所・計政局	121
15 藩政／在方／御救い拝借金返済 勘定所	122
16 その他 勘定所・計政局	123

そ文書群

1 藩主（藩侯）・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定 勘定所・計政局	125
2 藩主（藩侯）・真田家／御側方／御側向き等金銭勘定 勘定所・計政局	128
3 真田家／地所代金等 真田家家令・家扶	130
4 真田家／家政／寄付金 真田家家令・家扶	130
5 真田家／家政 真田家家令・家扶	130
6 真田家／吉凶／祝儀 真田家家令・家扶	131
7 藩政／財方／財方上申書 勘定所	132
8 藩政／財方／財方取計い何書並びに指示書ほか 勘定所	132
9 藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか 勘定所・計政局	135

10	藩政／財方／勘定向き用状ほか	勘定所	145
11	藩政／財方／勘定向き用状ほか	勘定所・計政局	154
12	藩政・県政／財方／財方取計い向き用状ほか	勘定所・計政局	182
13	藩政／財方／勘定諸務・台所賄いほか	勘定所・計政局	185
14	藩政／番方／兵糧・武具・火薬購入ほか	勘定所・計政局	196
15	藩政／番方／京詰出兵費用	勘定所	198
16	藩政／財方／村々御救金策献言	計政局	199
17	藩政／庶務方／各部署の人事・人員配置		200
18	藩政／庶務方／町在諸職等の名前書上		200
19	藩政／庶務方／硝石製造褒賞	計政局	201
20	藩政・真田家／財方／旧藩時家臣差出金・甲府出兵時町在献金	真田家家令・会計掛	203
た文書群			
1	藩主（藩侯）／吉凶／葬送	勘定所	211
2	藩主（藩侯）／吉凶／婚姻	勘定所	212
3	真田家／家政／白鳥神社金銭勘定	真田家会計掛	213
4	真田家／家政／旧松代藩調達上納金証書再交付願い	真田家会計掛	217
5	藩政／財方／御蔵初入払勘定ほか諸勘定	勘定所	219
6	藩政／財方／収納糺差引ほか諸勘定	勘定所	220
7	藩政／財方／上納金取立帳	勘定所	221
8	藩政／財方／中借金運用	勘定所・計政局	221
9	藩政／財方／藩札引替用資金中借	計政局	222
10	藩政／財方／勘定諸務・勘定向き用状ほか	勘定所・計政局	225
11	松代庁／財方／旧松代藩家臣借入金ほか諸勘定	計政局	236
12	藩政／財方／家臣・町在献金勘定ほか	勘定所	238
13	藩政／財方／藩札騒擾時の家臣献金	計政局	239
14	藩政／家臣・財方／家臣借入金	勘定所・計政局	242
15	藩政／番方／新小銃隊用買物・出勤調	勘定所	243
16	藩政／番方／戊辰出兵宰領ら勤務調	計政局	244
17	藩政／番方／戊辰出兵錦御印		245
18	藩政／庶務方／明治職制		246
19	藩政／在方・町方／争論・訴訟	勘定所	248
20	藩政／在方・町方／市場定・川除など諸取計い	勘定所・計政局	251
21	藩政／在方／村々御救い用資金中借	勘定所	252
22	藩政／在方／凶作状況調	勘定所	253
23	藩政／在方・町方／町在御救い金穀貸与	勘定所	253
24	藩政／鉦山経営	勘定所	258
25	松代庁・元松代庁／財方／藩債・その他旧藩勘定	真田家家令・家扶	258
26	その他		259